

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0590300059		
法人名	合資会社 大森産業		
事業所名	グループホーム樹の里おおもり		
所在地	秋田県横手市大森町字町田39-1		
自己評価作成日	令和3年12月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和4年2月16日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関との協力体制がとれており、ご利用者様の体調急変時はあわてることなく迅速に対応できています。</li> <li>・ご利用者様が心地よく笑顔で暮らせる環境づくりに努め、職員がやりがいを持って働ける職場となり、お互い笑い声の多いホームであるよう取り組んでいます。</li> </ul>
---

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>90歳、100歳を超える方等、高齢の方が多く居住していることから、対応に配慮しつつ、より密に関わりを持つことを大切にしながらストレスなく過ごせる場所づくりに努め、理念に沿ったサービス提供ができるよう取り組んでいます。家族とは窓越しで面会を行う等、昨今の状況を鑑みながら臨機応変に対応すると共に連絡をとりながら利用者を支え、信頼関係が築けるよう努めています。また、職員が各委員会に属して自主性を持ってサービスの向上に繋げており、利用者も職員も共に楽しめる催事を企画する等、制限が多い中でも工夫しながら日々の支援に取り組んでいます。</p>
---

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	両棟玄関入口に、理念を掲げ理念の中心である「ここにいてよかった」と思っただけよう実践しています。	それぞれの状態に合わせた対応ができていることから理念が職員に浸透し、利用者の安心を生む生活の提供に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホーム周りの散歩の際など、地域の方々とあいさつを交わしたり会話することを大切にしています。	感染症対策のため、これまでのように積極的な交流はしていませんが、訪問内容は継続してお願いしています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	出掛け先(スーパー、病院)でのご利用者様への接し方、声かけ等認知症の方への支援の方法を伝えています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染症防止の為、開催はしていませんが出席者へは状況報告しています。	行政の他、多くの地域の方がメンバーになっていることから、書面上ではあってもそれぞれの立場から意見を出していただき、サービスの向上に活かすことができるよう取り組んでいくことを検討しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターから介護相談員の派遣受け入れ、地域ケア会議へ参加したりして関係を築いています。	顔の見える関係づくりに努め、情報収集しながら円滑な協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に勉強会を行い、身体拘束をしないケアに努めています。	拘束虐待委員会が中心となって勉強会を行っています。家族には状態の変化に応じてリスクを説明して理解していただき、身体拘束のないケアに取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に委員会を開催したり、勉強会を行ったりし虐待防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用されているご利用者様がおられるので、関係者と連携しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去の際は、管理者より十分な説明を行い、ご利用者様及びご家族様のご理解を得ています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱の設置の他、地域包括支援センターからの相談員派遣を受け入れて要望等を聴きだせる環境にあります。また、ご家族様面会時に意見、要望等、直接話していただき検討しています。	面会時や電話連絡等で利用者の状況を伝え、介護計画にも反映できるよう意見の引き出しに努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談や申し送りの際に、意見や要望を伝えることができおり、意見交換は活発に行われ働きやすい環境づくりに努めています。	職員が各種の委員会に属してサービスの向上に繋げる取り組みがされており、両ユニットの連携も図られています。それぞれの委員会が自主性を持ち、企画、実践して運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は代表社員に職員個々の目標と実績を報告し、向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場研修会への手当や、各種資格取得の研修費の補助を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	横手市グループホーム情報交換会や地域ケア会議に参加し、情報共有や交流してネットワークづくりに取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期入所の段階でご本人が不安に感じていることや要望をご家族様からも聴きだし、ケアプランに反映させて身近な協力者と思ってもらえるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談、入所契約時の際に意見や要望、ホームでの生活について等、ご家族様の思いを聴いて安心していただけるよう努めています。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様一人ひとりの日常生活を共に支えあい、活躍の場を提供しながら共同生活を送っていただくように努めています。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の悩みや思いがあることを忘れず、ご本人とご家族様がいい関係でいられるように面会時、電話での連絡の際に聴き取りをしています。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの床屋、美容院、かかりつけ医等、長年付き合ってきた方との関係を継続できるようにご家族様と協力しながら支援しています。	コロナ禍で制限がある中でもできることを継続しており、馴染みの人と話しができることを楽しみにしていたり、以前の職場や住んでいた場所までドライブしたりとこれまでの関わりを大切にされた支援が行われています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格の合わないご利用者様同士でもスタッフが中に入り会話をつなげたりし、ご利用者様同士の相性を把握し、お互いに関係が深くなられるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退院となった場合でも、ご家族様から相談があった場合にはできる範囲でサポートするようにしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩に出かけたい、昔、勤めていた職場を見に行きたい、お菓子やジュースがほしい等の要望にはできるだけ早く対応しています。またホーム対応が難しい場合はご家族様と話し合い検討しています。	日々の関わりの中で思いを汲み取るように努めており、何気ない会話から気付くことも多く、情報として職員間で共有し、意向に沿った暮らしができるよう取り組んでいます。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談時にご利用者様、ご家族様より情報提供していただき、その情報をもとにケアに活かしています。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録、ホーム日誌、体調管理表への記載内容を共有し、ご利用者様のペースに合わせた支援、介助に努めています。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族様から要望を聴き取り、またスタッフからはご利用者様の現状と変化についてモニタリング用紙に記入してもらい、ご本人に合ったケアプラン作成に努めています。	支援目標に沿って生活記録が記載されており、職員がそれぞれモニタリングを行った上で介護計画を作成しています。	
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録や申し送り等でご利用者様の情報を共有し統一した支援に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	受診先で、ホームになかなか会いにこられない、ご家族と待ち合わせをし受診対応しています。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関に限らず、ご本人、ご家族の希望を受け入れてかかりつけ医への受診対応を行っています。かかりつけ薬局とも情報共有、アドバイス等いただいています。	本人、家族の希望に沿った支援が行われており、家族とも情報を共有しています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1度の訪問看護指導の際、ご利用者様の体調について報告、相談し適切な指示が受けられる体制になっています。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者様が入院した際は、治療方針と退院に向けた話し合いを主治医とご家族様と話し、退院時には病院のケアワーカーより連絡調整する仕組みがとれています。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の契約時、ご家族様へ重度化した場合の対応等説明し承諾をいただいています。ご家族様からも意見をうかがいホームでできる支援、介護について理解していただけるように努めています。	利用者の状態の変化に応じて家族の意向を確認しており、家族が望む支援ができるよう話し合っています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訪問看護相談の際、体調急変時の対応を教えていただくことにより、急変時はあわてることなく対応できることになっています。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害を想定した訓練を年2回実施しています。緊急連絡網に従って行動できる体制になっており、地域との連絡もとれています。一時的な避難場所も確保しています。	避難訓練の他、駆けつけ訓練も行っています。防災の日を設定して備蓄品で昼食を摂る等、食料や防災器具の管理を適切に行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の人格を尊重し、常にその方に合った口調、声のトーンを考え丁寧な対応を心掛けています。	利用者の表情を確認してその時の状況に合った言葉かけや対応を職員全員で共有し、ケアに努めています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が希望を述べたり、選んだりできるように自己決定できる機会、場面を大切にしています。		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間、入浴等、ご利用者様の希望があればその都度対応し本人のペースを大切にしています。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	オシャレをしたい、綺麗でいたいという気持ちを尊重し、行きつけの美容院の支援や外出時の服装についても一緒に考えて対応しています。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物、好物を献立に取り入れ、全員揃っての食事を心がけ、会話も大切にしています。 料理の下処理、食器拭き等手伝っていただいています。	プランターで野菜を育てたり、食事風景を演出してみたりとコロナ以前と違う楽しみ方ができるよう取り組んでいます。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の指導のもと、その人に合わせた食事形態を提供しています。食事・水分摂取量を記入し1日の摂取量確保に努めています。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者様に合わせた、口腔ケア用具を使用し、口腔内の清潔保持に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表へ記入し排泄パターンを読み取り、できるだけ失禁による不快な思いをさせないように、トイレへの声掛け誘導をしています。	その人毎のパターンを把握して対応し、リハビリパンツから布パンツに移行できた事例もあり、チェック表を有効に活用した支援が行われています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	管理栄養士と相談し食物繊維を多く含む食事の提供に努めています。テレビ体操、散歩等、体を動かす時間を増やすように取り組んでいます。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の日程は組んでいるが、その日の体調や本人の希望に沿って調整を行い入浴したい日に入らせていただいています。	利用者の希望や体調に柔軟に対応して週2～3回入浴しており、気持ち良く入れるよう支援しています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者一人ひとりの休息スタイルが定着しており、掛物の調整や温度管理等、安心して安眠できるように支援しています。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師の管理指導を受けながら相談し助言をいただいています。薬の変更があった場合、与薬後の症状変化の観察に努めています。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩が好きなご利用者様には天候をみながら散歩支援しています。歌が好きなご利用者様には歌番組を録画したものを観ていただいています。他に役割として食器拭き、洗濯物たたみ等活躍の場を提供しています。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩支援の他にも、ドライブしながら季節ごとの風景を楽しんでもらえるように支援しています。また若い頃に過ごしていた場所や働いていた職場を見学して思い出を思い起こすことができる支援をしています。	家族と外食に出かけたりすることは中止していますが、季節の花見には密を避けて出かけています。野菜や花を植えたり、敷地を利用して食事をしたりと外で活動できる機会を増やし、気分転換できるような支援が行われています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を管理できるご利用者様には所持していただき、受診後の売店やスーパー等での買い物支援を行っています。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持しているご利用者様は気軽に連絡をできる環境にあります。また、ホームの電話はいつでも使用できるように対応しています。 ご利用者様より、はがき印刷のデザインを頼まれた場合は印刷対応しています。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が感じられるように季節に合ったディスプレイをしたりして工夫しています。 生活音、明るさ、温度調整に気を配り心地よく過ごせるように支援しています。	開設から年数が経過していますが、清潔感が保たれて居心地の良さが感じられます。事務所を挟んで両ユニットの玄関があって人の出入りに目が行き届く造りになっており、広い浴室と脱衣所には暖房が設備され、介助しやすい位置に浴槽が設置されています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室で自由に過ごしていただいたり、気の合うご利用者様や相性を考慮してテーブル席のレイアウトの工夫をしています。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具、家電等自宅で使用されていたものを自由に持ってきていただき、ご本人が安心できる環境に努めています。	持ち物の少ない方や馴染みのものに囲まれて暮らしている方等それぞれですが、その人なりの生活の場として過ごせる環境となるよう支援しています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口に目印となる装飾品や表札を掲示しています。トイレにも張り紙をしていますが、漢字がわからないご利用者様にも配慮した工夫をしています。		